

コミセン自主企画事業
「ブロッコリー栽培体験」
まちづくり部 大菅幸治 部長

みんなでブロッコリー 収穫して調理して 食べてみたよ

ブロッコリー収穫 実施日:令和8年1月26日(月)

灘分小学校3年生が、昨年9月12日に植え付けたブロッコリーが、水やり、草取り、イモムシ駆除など一生懸命お世話をしたので大きく実りました。今日は、待ちに待った収穫の日です。昨年の夏から秋頃の高温が続いたせいで、生育が心配されましたが、ジャンボサイズの見事なブロッコリーを収穫することができました。包丁を使っての収穫作業は、みんなはじめてとは思えないような手つきで、手際よく収穫しました。



ブロッコリーの調理・試食 実施日:令和8年1月27日(火)

昨日収穫したブロッコリーを、みんなで調理しました。班別に分かれ、それぞれ手分けをして調理しました。

茹でたり炒めたりして熱を通すとブロッコリーの緑色がより鮮やかになりました。みんなで手分けをして調理したので、山のようにあったブロッコリーは、たちまち茹でたブロッコリーと炒めたブロッコリーでそれぞれ大皿に山盛りに盛られました。完成です。いよいよみんなで試食！料理を囲んで、それぞれ箸をのばして好きなものを競うように皿に取り、マヨネーズやマヨしょうゆをつけ、大皿に山盛りあったブロッコリーはあっという間になくなりました。やっぱり自分で、育てて収穫、調理したものは美味しいね。後でみんなに聞いたら、炒めたブロッコリーの方が美味しかった児童が、圧倒的に多い感想でした。「ごちそうさまでした。」



令和8年春季火災予防運動が始まります

平田消防署及び出雲市消防団平田方面隊から春の火災予防運動に伴うお知らせです。

3月1日から7日までの一週間、『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』を統一防火標語に、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎え、私たち一人ひとりが防火意識を高めることによって火災の発生を防ぎ、住民の生命や財産を火災から守ることを目的として行われます。

昨年、出雲市では65件の火災が発生し、うち9件が平田消防署管内で発生しています。火災はちょっとした不注意から発生することがほとんどです。火災を発生させないようにするために、寝たばこをしない、ストーブの周りに燃えやすいものを置かない、火を使っての料理中はその場を離れない、コンセントの埃を掃除するなどの対策を心掛けましょう。

また、強風時や乾燥時に野焼きを行わない、火を使用中は直ぐに消火できる準備をし、その場を離れず、使用後は完全に消火するなどの対策を心掛けましょう。大切な命、財産をまもるため、地域一体となって火災予防に努めましょう。



高校生と一緒に「探究」

～防災と平和を、地域で考えました～

最近、「高校生が地域で何か活動していたなあ」「“探究”って聞けけれど、正直よくわからない」そんなふう感じた方もいるかもしれません。

今回、コミセンでは高校生とともに、「防災」と「平和」をテーマにした探究活動を行いました。探究とは、特別な正解を出す学びではありません。自分たちの暮らす地域を見つめ、知り、考え、そして伝える。その過程そのものが学びです。

防災から見た、ふるさとの「見えない危険」

防災学習では、まずふるさとの成り立ちを学びました。

この地域は、かつての「かなな流し」によってできた土地で、地盤がゆるく、大きな地震が起きた場合には液状化の危険があることがわかりました。普段の生活では意識しにくい、見えない危険が身近にあることを、高校生たちは実感しました。

また、防災BOOKづくりに取り組もうとした班では、「みんな同じ防災」ではなく、自分に合った防災について考え始めました。多くの情報の中から、「自分には何が必要か」「家族を守るために何を備えるか」を考えることは、防災を自分ごととして捉える大切な一歩となりました。

防災フェアでは、こうした学びを地域の方々に向けて発表しました。

高校生たちは、伝える経験を通して、地域とのつながりを強く感じていました。



ふるさとから学ぶ、あらたな平和学習

平和学習では、ふるさとの記録を知ることから始まりました。

活動していた高校2年生は、コロナ禍で広島への修学旅行が中止となった世代です。高校生となり、あらためて平和について学び直す中で、平田高校に残る当時の記録などにも目を向けるようになりました。ふるさとから平和を学ぶことは、過去を受け止め、未来へ手渡していく学びにつながっています。

平和の集いでは、光幼保育園の発表や高校生の活動発表、参加者同士の意見交換など、さまざまな年代の人が平和について語り合う場となりました。世代を越えて語る中で、平和のありがたさを改めて実感する時間となりました。

学びは地域とともに

学びは、教室の中だけにあるものではありません。

地域には、経験や記憶、思いが積み重なった「生きた教材」があります。学校と地域が出会うことで、子どもたちの学びが深まると同時に、地域もまた、自分たちの暮らしや歴史を見つめ直す機会となっています。



2月・3月の行事予定

- 3月6日(金) コミセン運営委員会・事業委員会合同会 19:00～ 灘分コミュニティセンター 中会議室
- 3月13日(金) 灘分地区自治協会理事会 19:00～ 灘分コミュニティセンター 新館
- 3月19日(木) 町内会長・団体長合同会 19:00～ 灘分コミュニティセンター 新館